

# 事務事業評価シート

H26(標準事業)

① 基本事項	事業コード	08155-1	事業名	狭隘道路後退用地整備事業	部名	建設部
	基本施策の大綱	01:快適な都市空間の創造			室名	用地管理室
	基本施策	06:住環境の向上			財	会計 一般会計
	施策の方向	02:安全・快適な住環境の整備			務	款 土木費
	戦略プロジェクト				科	項 道路橋梁費
				目	目 道路橋梁総務費	

② 目的・概要	対象	市民
	目的・概要	市内の市道を含む公道で幅員4m未満の道路(狭あい道路)に接する敷地の建物の立て替え等の際に、道路中心線からそれぞれ2m後退した用地を市に寄附いただき、建築基準法に規定される4mの幅員まで、道路の拡張整備を促進する事業。後退した用地の寄附をいただいた場合には、土地の分筆費用、生垣等の除却費用の一部を助成するものです。

				24年度	25年度	26年度	
③ 指標	活動	①	名称	申請件数	計画値		
			補足	道路後退用地の助成申請等協議した件数	実績値	43	45
		単位			件	件	件
	②	名称		計画値			
		補足		実績値			
		単位					
成果	①	名称	実績件数	計画値			
		補足	道路後退用地を市に寄附を行い、助成金の交付を受けた件数	実績値	33	26	35
	単位			件	件	件	

年度計画				年度実績				
				申請件数・・・48件 実績件数・・・35件				
④ 事業の計画・実績	事業費		計画額	予算額	決算額	総人件費 ①	518	
		事業費		8,760	8,681	一般職員人件費 ②	518	平均給与額×③
		国庫支出金		959	959	所要人員 ③	0.07	
		県支出金				臨時職員人件費 ④		
		地方債				受益者負担額 ⑤		
		その他				受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥
		一般財源		7,801	7,722	50/240×1/8×3名		
		再掲	翌年度への繰越額					
			前年度からの繰越額					
			総人件費		①	518		
	総コスト		⑥	9,199				

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	平成21年度から着手した事業であるが、年々増加傾向の成果が出ている。たとえ、路線のうち一箇所だけ片側だけの道路後退が行われた場合にあっても、待避所的な役割として機能することから、家屋の連坦する市街地においては、沿道住環境の向上のみならず、円滑かつ安全な道路交通の確保、生活道路の機能向上により、良好な都市の形成に寄与するものとする。今後は、路線全体における統一的な道路線形確保の必要性から、行政出前トークを二地区で行ったうえ、天神及び阿野田地内で道路中心線協議立会を実施した。	総合判定	A 順調に進んだ
	【反省点・課題】	中心線の確定については、申請のあった箇所ごとに決定しているが、現在のところ、実績は市内全体では僅少であり、結果的に直線的な線形が保てない路線が生じる恐れがある。そのため、申請地から路線ごとの事業転換の仕組みづくりが必要である。路線測量は莫大となるため、費用対効果の高いDID地区内の狭あい道路で実施し、効果を確認する必要がある。		

⑤ 事業の評価	【改善の方向性】	狭あい道路は、現況幅員4m以下で最低限の生活道路として機能している。当該事業は、道路整備事業において即効性を有すると考えられることから、生活道路指針との整合を図りながら、道路整備事業のひとつの事業として進捗したい。道路部署による事業として、路線としての中心線確定を行うことにより良好な生活道路の整備促進に結びつけることにより、引き続き効果検証を図っていく。
	事業目的の妥当性: 適切	有効性: 適切